

みんなで
作ろう!

いせさき



いせさきし
伊勢崎市
PRキャラクター
「くわまる」

夏の生きものの図鑑

Ise-saki
City

参加した人数
960名

発見した生きものの数
12,689件

発見した生きものの種類
2,447種

調査期間

2025年
6月21日～
9月23日

群馬県南東部に位置する伊勢崎市。ここには多くの河川や池沼があり、私たちの身近な場所にも豊かな自然が息づいています。今回スマートフォンアプリ「Biome(バイオーム)」を活用し、2025年の夏に集まった投稿データから「いせさき夏の生きもの図鑑」が完成しました！伊勢崎市にはどんな生きものたちが生息しているのでしょうか？

調査で見つけた希少種

投稿のあった群馬県レッドリストに記載されている希少種を一部紹介します。

群馬県 植物レッドリスト
(2025年部分改訂版)
絶滅危惧IA類



アサザ

キク目ミツガシワ科

湖沼の浅瀬に自生し、夏に黄色い花を咲かせる浮葉植物です。かいばつなど せいいくかんきょう あつか 開発等で生育環境が悪化しており、現在は個体数が減少しています。

©かりんぎ

群馬県 動物レッドリスト
(2024年部分改訂版)
準絶滅危惧



オオタカ

タカ目タカ科

里山の生態系上位に位置するタカの仲間で、カモやハトの仲間を捕えて食べます。近年は市街地でも観察されることがあります。

©亀井誠一

※調査への投稿以外の写真を掲載しております。(提供 伊勢崎市)

群馬県 動物レッドリスト
(2024年部分改訂版)
準絶滅危惧



サワガニ

エビ目サワガニ科

一生を淡水で過ごすカニの仲間です。溪流や沢など冷たい水が流れる場所に生息し、屋間は岩などの物陰に隠れています。

©mojyako

※1・※2・※3について… ● 数値は、調査期間内にアプリ「Biome(バイオーム)」へ伊勢崎市内から寄せられた全投稿を集計したものです。● クエスト期間外に撮影された投稿や、標本を撮影した投稿は含まれておりません。

● 種類の判定・登録は一般のアプリユーザーによるものため、種類数に一部不確かな記録が含まれている可能性があります。● 分類群までしか判定できなかった投稿(例:アリ科など)は、別種として種類数に含めています。

いせさき生きものマップ

市内の環境を「水辺」「緑地・里山」「住宅街」の3つに分け、それぞれで見つかった主な生きものを紹介します。

水辺で発見された生きもの

市内には波志江沼などのため池や、多様な河川など、豊富な水辺環境が広がっています。広瀬川、粕川、早川などの河川を中心に、多くの投稿が寄せられました。



シミビレクダアオサギ



ナミジミハグロトンボ



きくいとアオダイショウ

住宅街で発見された生きもの

小学校や住宅付近の庭、畑などからも多くの投稿が寄せられました。生きものが緑地から緑地へ移動するときに、町中の植栽や街路樹を利用することもあります。



koz.koz チョウゲンボウ



とらせすじすめヒガシニホンアマガエル



もぎもぎ虫攻略隊ニホンヤモリ

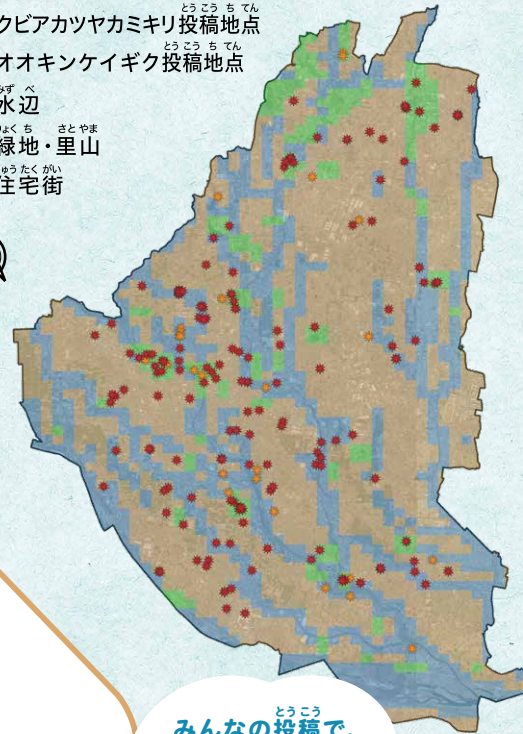


崖の上の船越ショウリヨウバッタ

伊勢崎市マップ

電子国土基本図(オルソ画像)(2007年~)を加工して作成

- クビアカツヤカミキリ投稿地点
- オオキンケイギク投稿地点
- 水辺
- 緑地・里山
- 住宅街



みんなの投稿で、
たくさんの情報が
あつ
集まったよ!



緑地・里山で発見された生きもの

市街地の周辺にも社寺林や都市公園など、身近な緑が広がっています。これらの環境を拠点として、様々な生きもの同士のつながりが生まれています。



アブラゼミ



ほしてんオナガ



ジャイアントQちゃんカブトムシ

ミッションで探した特定外来生物

市内で生息数を増やしている特定外来生物を対象にエクストラミッションを実施しました。クビアカツヤカミキリによる樹木への被害は過去5年間増え続けています。



投稿数 179件 ©NKチャンネル クビアカツヤカミキリ



投稿数 27件 ©子豚三兄弟 オオキンケイギク

※地図上の点は、調査期間内にアプリ「Biome (バイオーム)」へ伊勢崎市から寄せられた全投稿の各登録地点を示します。※クエスト期間外に撮影された投稿や、標本を撮影した投稿は含まれておりません。

※分類群登録は一般のアプリユーザーによるもののため、一部不確かな記録が含まれている可能性があります。

調査で見つかった特定外来生物

もともとその場所には生息していなかったにもかかわらず、人間の活動によって新たに持ち込まれた生きものを外来種といいます。調査で見つかった外来種の中でも、特に生態系や農林水産業、人の生命・身体に被害を及ぼす、または及ぼすおそれのあるものとして、「特定外来生物」に指定されているものを紹介します。

ミッションで探した特定外来生物



クビアカツヤカミキリ

幼虫はサクラやモモを食い荒らし枯らします。公園や学校などサクラのある場所から多くの投稿がありました。



オオキンケイギク

観賞用や工事の緑化用として導入されましたが、繁殖力が強く、他の植物の生育場所を奪ってしまいます。

調査で見つかった条件付特定外来生物



アメリカザリガニ

ザリガニ釣りで親しまれますが、水生植物や昆虫、魚などを捕食し、在来の生きものを減らしてしまいます。



ミシシippアカミミガメ

ミドリガメとも呼ばれる身近なカメです。在来カメと餌や場所を奪い合うほか、他の生きものを捕食します。

特定外来生物について

特定外来生物は外来生物法により、①飼育や栽培、②生きたままの運搬、③販売や譲渡、④野外へ放すことなどが原則禁止されており、違反すると罰則があります。

アメリカザリガニとアカミミガメは「条件付特定外来生物」のため、規制の一部が除外されており、一般飼育や無償での譲渡は可能です。一方、無許可での輸入や販売、野外への放出は特定外来生物と同様に禁止されています。

調査で見つかったその他の特定外来生物



アカボシゴマダラ(大陸垂蛾)

成虫の大きさは40~53mmで、樹液などに集まります。関東地方を中心に近年生息数が増加しています。



カオジロガビチョウ

1994年に赤城山で初確認されました。今は北関東等に分布し、植物が豊かな平地や丘陵地の森に住みます。



アライグマ

ペットとして輸入され野生化しました。在来種の捕食や農作物等への食害も深刻です。

※調査への投稿以外の写真を掲載してあります。(提供 伊勢崎市)

伊勢崎市では特定外来生物の情報を募集しているよ!



伊勢崎市 外来種への取組み



伊勢崎市ホームページ

外来種をふやさないために

外来種による被害を防止するために、以下の三原則が提唱されています。

- 1 悪影響を及ぼすおそれのある外来種を自然分布域から非分布域へ「入れない」
- 2 「捨てない」(逃がさない・放さない・逸出させないことを含む)
- 3 既に野外にいる外来種を他地域に「拡げない」(増やさないことを含む)

調査で見つかった生きものたち

市内で投稿のあった主な生きものを紹介します。

- 住…住宅街で発見された生きもの
- 緑…緑地・里山で発見された生きもの
- 水…水辺で発見された生きもの



夏に多く見られる昆虫や植物が多く投稿されたよ!



シオカラトンボ

市内全域から投稿があり、トンボの仲間です。最大の投稿数でした。

©tzg

住



ノコギリクワガタ

夜の樹液に集まる昆虫です。全体で3番目におお投稿されました。

©ユウユウシゲラー

住



ナガコガネグモ

成体の腹部は白と黄色の模様です。クモの中です。投稿数2位でした。

©めしめしめし

住



ネジバナ

らせん状に咲くランの仲間です。住宅街からの投稿が多いです。

©浅見より

住



トノサマバッタ

河原などに住む国内最大級のバッタで、公園でも見られます。

©julynine

緑住



ヤマトタムシ

夏に樹上を飛びます。光沢のあるはねは装飾に使われます。

©mona721

住



ウスカワマイマイ

殻が薄く中の模様が透けて見えます。住宅街の投稿が多いです。

©ナミシヨ

住



ヌマガエル

西日本由来のカエルです。利根川水系など水辺の投稿が多いです。

©豆柴子

水住



ナナフシモドキ

樹林の緑の植物周辺に多く、公園の林からも投稿がありました。

©mona721

緑住



ナミアゲハ

明るく開けた住宅地などを中心に、市内全域で確認されました。

©レモンパレー

住



メタセコイア

生きた化石と呼ばれますが、今は学校や公園に植えられています。

©basilKWJ

住



ニホンカナヘビ

身近な場所にいるトカゲの仲間です。爬虫類では最大の投稿数でした。

©m-a-s-h

住



キマダラカメムシ

近年増えている外来種です。昆虫の投稿数で第5位でした。

©ジャイアンツQちゃん

住



ツマグロヒョウモン

幼虫はパンジーなどを食べます。住宅地からの投稿が多いです。

©クリスマスローズ畑

住



サルスベリ

長く咲くため別名は「百日紅」です。花の投稿が多かったです。

©まぐろ(アム)

住



キジ

農地や川の草地に生息し、水辺の畑などから投稿がありました。

©雀田ちゆん

水



ウスバカゲロウ

幼虫はアリジゴクと呼ばれ、成虫としての期間は2〜3週間です。

©Pessago25

住



シオヤアブ

他の昆虫を捕食します。成虫は自身より大きな獲物も捕らえます。

©赤城1828

住



ツユクサ

道路脇などに多く、市内でも公園や里山から投稿がありました。

©エルポー

緑住



カワセミ

水辺の岩や木の枝から、魚やカニなどを狙って捕食します。

©ほしてん

水